# 募集

～始めませんか、農ライフ～

WE LOVE とよた

**受付期間**
**令和３年11月１日(月)**
**～令和４年１月21日(金)**

受講申込書の受付時に簡単な面接を行いますので、必ず本人が農ライフ創生センターまで持参してください。
２月14日(月)までに結果を通知します。

**農業を本格的に始める人向け（２年）**

## 担い手づくりコース
## 19期生24人

**新規就農科（四郷）16人・山間営農科（旭）８人**

**農業を楽しむ人向け（１年）**

## 生きがいづくりコース
## ４期生30人

**四郷15人・下山15人**



農 豊田市 ライフ創生センター

## 農業を本格的にやる人はこちら

# 担い手づくりコース19期生

**担い手づくりコースは、「農業を本格的に始めたい」という人のための研修です。実技を主体に２年間、農業のノウハウを学んでいただき、修了者には、希望に応じて農地（豊田市内）の借受けを支援します。**

**1 対　　象**　市内で就農を希望する66歳以下（令和４年４月１日現在）の人
**※健康で、２年間の研修を修了する意欲があること**

**2 科目・定員、研修場所、内容**

| 科目・定員 | 研修場所 | 内容（主な栽培作物） |
|---|---|---|
| 新規就農科<br>四郷：16人 | 四郷研修所<br>（四郷町） | 平地での営農を想定した作物づくり<br>水稲、ナス、ダイコン、ニンジン、キャベツ、ハクサイ、タマネギ、スイカ、メロン、スイートコーン、イチジク、ハウス野菜 |
| 山間営農科<br>旭　：８人 | 旭研修所<br>（槙本町） | 山間地域での営農を想定した作物づくり<br>水稲（ミネアサヒ）、ナス、ジネンジョ、スイートコーン、ブルーベリー、ハウス野菜 |

**※科目を重複して受講はできません。定員を超えた場合は選考（農地の借受けを希望する人優先）により受講生を決定します。**

**3 研修期間**　２年／令和４年３月～令和６年２月

**4 開 講 式**　令和４年３月１日（火）午前10時～正午、JAふれあいホール

**5 研修開催日**

| 教科・科目 | | 開催曜日 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 基礎教科（年5回程度・全員） | | 月曜日 | 開催時間は、いずれも午前９時から半日程度。ただし、夏場は熱中症対策のため開始時間を早める場合があります。開催日数は、年間50日程度で科目によって異なります。なお、研修日程は、天候や作物の生育状況等により変更や臨時開催する場合があります。 |
| 専門教科 | 新規就農科（四郷）１班 | 水曜日 | |
| | 新規就農科（四郷）２班 | 金曜日 | |
| | 山間営農科（旭） | 土曜日 | |

**※四郷研修所は応募が各５人未満の場合は水曜日（新規１班）に実施します。**
**※旭研修所は応募が５人未満の場合は実施しません。**



農業機械の操作を研修修了までにマスターすることが目標



新規就農科では地元特産のイチジクの栽培研修を実施



地元特産のスイカやメロンなど果物の栽培研修を実施

## 6 研修カリキュラム

| 教　科 | 内　　容 |
|---|---|
| **基礎教科** | **土壌分析と施肥設計、病害虫防除、植物の生理・生態、農業経営、営農計画の立て方 等**<br>**※講義主体で各科目共通(全員受講)** |
| **専門教科** | **土壌改良、施肥、は種・定植、病害虫防除、除草、収穫、販売、農家・農業施設の見学、農業機械等取扱い、農家等への実習・援農　等**<br>**※実技主体** |
| **実践栽培** | **２年目に、１人当たり約200㎡の区画を割り振り、受講生自身の責任と管理で耕作。年に２回（７月、10月頃）管理状況や作物の出来栄え等を判定します。**<br>**※栽培方法は、一般的な農法で行います。** |

**7 受 講 料**　各科年額20,000円（教材費を含む）
**※納入された受講料は返却しません。**
**２年目の実践栽培に必要な苗、肥料、資材等は各自負担で用意していただきます。**

**8 修了要件**　受講日数(８割以上)、実践栽培の評価、就農計画の内容などで判定

**9 修了者への支援**　①農地(市内に限る)借受けの支援
②援農先の紹介
③農業機械の貸し出し(有料）。**修了後10年間**　※トラクター検定あり

**10 そのほか**　研修で使用する農業機械・農具等は、貸与するが、作業着・長靴・軍手等は、受講生が用意
**※傷害保険は各自で加入してください。**

## 農業を楽しむ人はこちら

# 生きがいづくりコース４期生

**※応募が５人未満の場合は実施しません。**

**生きがいづくりコースは、「農業を楽しみたい」という人のための研修です。実技を主体に１年間、基本的な野菜・作物づくりのノウハウを学んでいただきます。**

**1 対　　象**　市内・県内在住の70歳以下（令和４年４月１日現在）の人
**※健康で、１年間の研修を修了する意欲があること**
**※下山研修所は県内在住可**

**2 研修内容**　実技を主体に、各種の農作物づくり（土壌改良、施肥、は種・定植、病害虫防除、除草、収穫等）の基礎を学びます。
**※主な栽培作物：野菜全般（葉菜、果菜、根菜各種）、水稲の基本的な栽培・管理**

**3 研修場所、定員、研修開催日**

| 研修場所 | 定員 | 研修開催日 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 四郷研修所（四郷町） | 抽選15人 | 毎週火曜日の午前 | 開催時間は午前９時から３時間程度。なお、研修日程は天候等により、変更や臨時開催する場合があります。 |
| 下山研修所（和合町） | 抽選15人 | 毎週金曜日の午前 | |

**4 研修期間**　１年／令和４年３月～令和５年２月

**5 開 講 式**　令和４年３月１日（火）午前10時～正午、JAふれあいホール

**6 受 講 料**　20,000円（教材費を含む）**※納入された受講料は返却しません。**

**7 修了要件**　受講日数（８割以上）

**8 そのほか**　研修で使用する農業機械・農具等は貸与するが、作業着・長靴・軍手等は、受講生が用意
**※傷害保険は各自で加入してください。**





# 農ライフ創生センター農作物栽培技術研修受講申込書

□ **担い手づくりコース１９期生**　（申込コースに☑）
□ **生きがいづくりコース４期生**

| 記入日 | 令和　　年　　月　　日 |
|---|---|

豊田市長　様

**私は、農作物栽培技術研修を受講したいので、持参のうえ次のとおり申し込みます。**

| | | | |
|---|---|---|---|
| ふりがな | | | 枠内に顔写真を貼付してください |
| 氏　名 | | | |
| 生年月日 | 昭和・平成　　年　　月　　日生まれ（　　歳） | | |
| 電　話 | 自宅　　－　　－ | | |
| | 携帯　　－　　－ | | |
| ファックス | 自宅　　－　　－ | | |
| E-mail | | | |
| 住　所 | 〒　　－ | | |
| 勤務先 | 現在 | （勤続　　年）<br>勤務日数：週　　日　勤務時間：　　時　　分～　　時　　分 | |
| | 最終 | （勤続　　年） | |
| **生きがいづくりコース希望場所** | 1.四郷研修所　2.下山研修所 | | |
| **担い手づくりコース希望科目** | 【第1希望】1.新規就農科(四郷)1班　2.新規就農科(四郷)2班　3.山間営農科(旭) | | |
| | 【第2希望】1.新規就農科(四郷)1班　2.新規就農科(四郷)2班　3.山間営農科(旭) | | |

受講を申し込んだ動機や研修に期待すること、農業について思うことなどを自由に書いてください。
また受講に際し、病気などで主催者側の配慮が必要な場合はその旨書いてください。

**担い手づくりコースは、裏面も記入してください。**

| **事務局記入欄** | 受付日：令和　　年　　月　　日（　　） | 受付No. | 受講No. |
|---|---|---|---|

**※当センターが取得した個人情報は、同研修以外の目的には一切使用しません。**

**※以下「担い手づくりコース」のみ記入**

あなたは、現在農地を所有していますか(家族名義含む)。いずれかに○を付けてください。

1．所有している→下表に記入してください

2．所有していない

**【所有農地】**

| | |
|---|---|
| 所在地：　　はじめ　　筆 | |
| 面積(合計)：　　㎡ | 現況：　田　・　畑　・　果樹園　・　遊休　・　その他 |
| 名義人：　　（関係：　　） | |

あなたは、現在農地を借りていますか。いずれかに○を付けてください。

1．借りている→下表に記入してください

2．借りていない

**【借受農地】**

| | |
|---|---|
| 所在地：　　はじめ　　筆 | |
| 面積(合計)：　　㎡ | 現況：　田　・　畑　・　果樹園　・　遊休　・　その他 |
| 名義人：　　（関係：　　） | |

あなたは、田畑などを耕作したことがありますか。いずれかに○を付けてください。また１、２の場合は、a～cにも○を付けてください。

1．現在、耕作している（a．所有農地　b．借受農地　c．家庭菜園など）

2．過去に耕作したことがある（a．所有農地　b．借受農地　c．家庭菜園など）

3．経験がない

4．その他（　　）

あなたは、研修修了後に農地の借受けを希望しますか。いずれかに○を付けてください。

**※借受け農地は豊田市内に限ります。**

1．希望する→下表に記入してください

2．希望しない

**【借受け希望農地】**

| | |
|---|---|
| 希望の場所(具体的に)： | |
| 面積：　　㎡ | 購入　・　借受　を希望する(いずれかに○) |

あなたは、研修修了後にどんな営農スタイルを希望しますか。いずれかに○を付けてください。また、１、２の場合は、希望する年間農業所得も記入してください。

1．自ら耕作し主に市場に出荷する（希望する年間農業所得：　　万円程度）

2．自ら耕作し主に産直施設へ出荷したり、直売する（希望する年間農業所得：　　万円程度）

3．自ら耕作し主に自家用で消費する

4．援農ヘルパーとして農家を手伝う

5．その他（　　）

**以上**

## 農ライフ創生センター 農作物栽培技術研修の体系

- 農作物栽培技術研修
  - 趣味レベル ― 旬の野菜づくりコース ― 四 郷 ―（30人）**4～12月**
  - 初級 ― **生きがいづくりコース**
    - 四 郷 ―（15人）**1年**
    - 下 山 ―（15人）**1年**
  - 中・上級 ― **担い手づくりコース**
    - 四 郷 ― 新規就農科（８人×２班）**2年**
    - 旭 ― 山間営農科（８人）**2年**



**※農作物栽培技術研修は、豊田市とあいち豊田農業協同組合の共同事業として実施しています。**

## 【受講申込書の記入要領】

**●表面は、太枠内について記入してください。**

**年齢**：記入日時点での年齢を記入してください。

**顔写真**：カラー、モノクロは問いません。ごく最近、できる限り正面から撮影したものをお使いください。

**勤務先**：「現在」欄は、今、勤務している場合又はこれから勤め始める場合に記入してください。「最終」欄は、今無職の場合、最終の勤務先を記入してください。

**生きがいづくりコース希望場所**：生きがいづくりコースの方のみ、希望する研修場所に○をつけてください。

**担い手づくりコース希望科目**：担い手づくりコースの方のみ、希望する科に○を付けてください。第２希望まで選んでください。

**受講の動機等**：熱意あふれる文章を期待しています。スペースが足りない場合は、別紙を用意して書いていただいても結構です。

**●担い手づくりコースの場合は、必ず裏面も記入してください。**

**所有・借受農地**：所有または借りている農地が複数の場合は、代表的な農地の所在地と、合計の筆数 （箇所数）を書いてください。面積は合計です。現況は、農地が複数の場合、該当するものすべてに○を付けてください。名義人が複数の場合は、最も広い面積を所有している方の名前を書いてください。

**借受け希望農地**：希望の場所は、地区名（猿投地区、高岡地区等）または町名を書いてください。

**※その他不明な点があれば、農ライフ創生センターへお問い合わせください。**

# 農ライフ創生センターのご案内




## 農ライフ創生センター

### ●四郷研修所

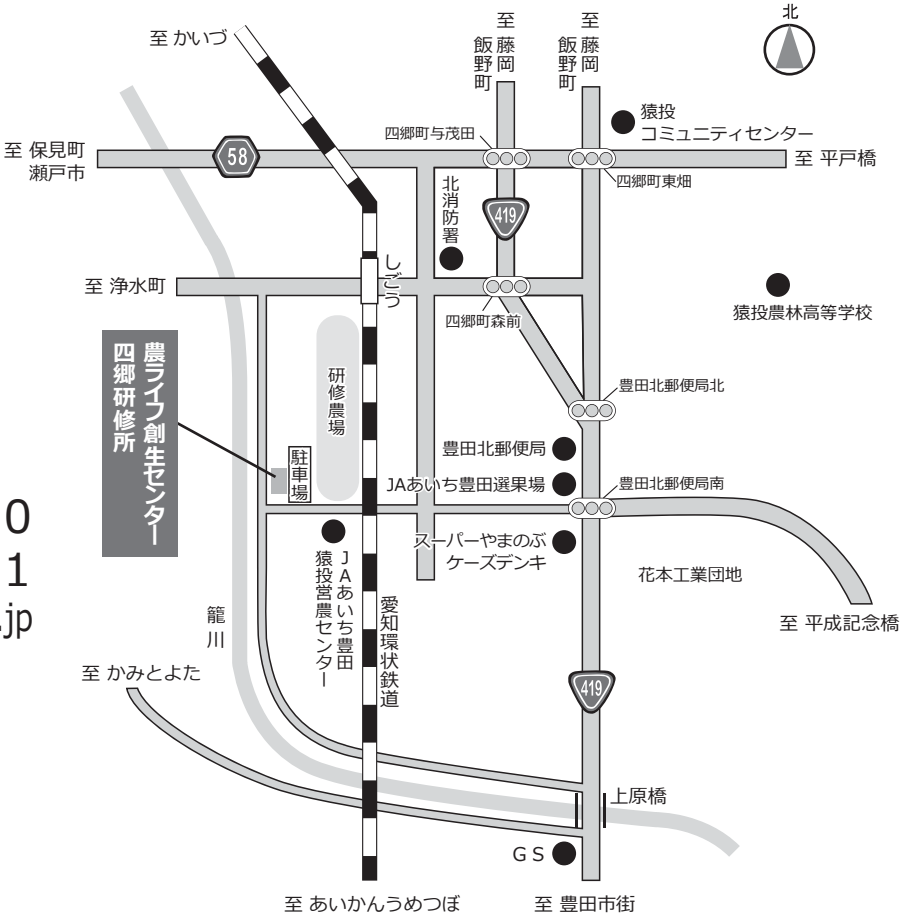
〒470-0373
豊田市四郷町松本105番地１
電　話（0565）43-0340
ファックス（0565）43-0341
E-mail:nou-life@city.toyota.aichi.jp

※開所時間：午前８時30分～午後５時15分
休 所 日：土・日曜日、祝日、年末年始

交通機関のご案内

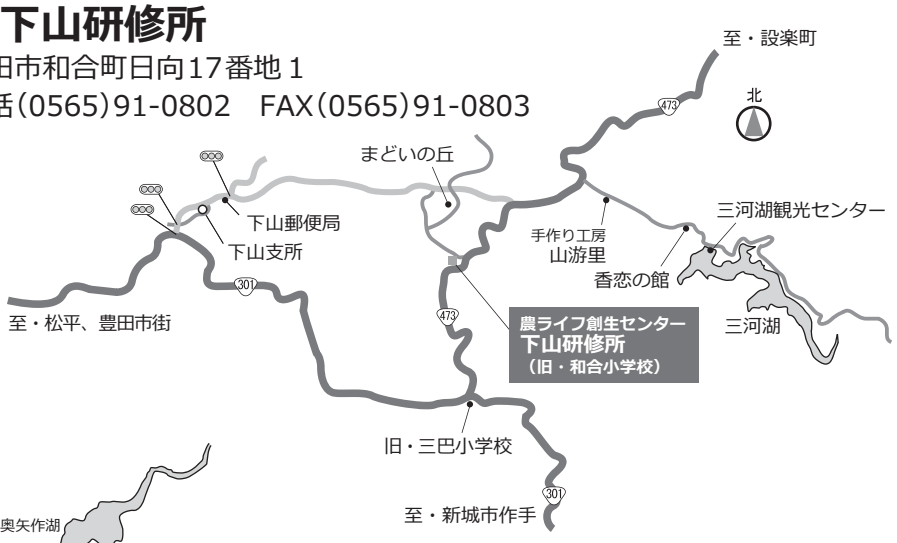
【電車】
名鉄豊田線上豊田駅下車徒歩15分
愛知環状鉄道四郷駅下車徒歩５分

【タクシー】
豊田市中心市街地から約15分




### ●下山研修所

豊田市和合町日向17番地１
電話（0565）91-0802　FAX（0565）91-0803




### ●旭研修所

豊田市槙本町
（連絡先 四郷研修所）

